

令和4年9月14日

大牟田市における新型コロナウイルス感染症への対応について

福岡県内の新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数は、8月下旬以降、減少傾向が継続しており、病床使用率は50%を下回りました。

福岡県では、これらの状況を踏まえ、令和4年9月13日に「福岡コロナ特別警報」を解除し、9月14日から「福岡コロナ警報」に移行することとされました。

「福岡コロナ特別警報」は解除されたものの、県においては、今後も、医療の逼迫を回避しながら、県民の命と健康を守り抜いていくため、医療提供体制・検査体制の充実強化に努めることとされています。

特に、県民に対しては、ワクチン接種した方を含め、マスクの正しい着用、手指の消毒、三密の回避、換気等の基本的な感染防止対策の徹底とともに、外食の際には「感染防止認証店」をはじめ業種別ガイドラインを遵守している飲食店を利用することなどが要請されています。加えて、重症化リスクの低い方で、発熱や咳などの症状がある場合、医療機関の受診に代えて、県が配布している抗原定性検査キット等を活用して検査を行い、陽性の場合には陽性者登録センターに登録するなど、医療を守るための協力が求められています。

また、イベントの主催者には、これまで同様、規模や内容により「感染防止安全計画」または「感染防止策チェックリスト」を作成し、換気の徹底や来場者の密集回避などの感染防止対策を着実に実行することが要請されているところです。

これを受け、9月14日以降の本市における新型コロナウイルス感染症への対応を以下のとおりとします。

併せて、感染の再拡大を招くことがないように、市民及び事業者の皆様に対して、引き続き感染防止対策の徹底をお願いしてまいります。

1. 市主催・共催等のイベント・行事・事業等について【継続】

実施にあたっては、三密の回避やマスク着用をはじめとする基本的な感染防止対策を徹底するほか、以下のとおり実施します。

① 収容定員が設定されている場合

人数の上限 5,000人

かつ、収容率の上限を50%（大声ありの場合）又は100%（大声なしの場合）

※なお、同一イベント等において、「大声あり」「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の上限は、それぞれ、50%（大声あり）、100%（大声なし）とする。

② 収容定員が設定されていない場合

ア 大声ありのイベントの場合、十分な人と人との間隔（最低1m）を確保し、間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断する。

イ 大声なしのイベントの場合、人と人が触れ合わない程度の間隔を確保

※) いずれの場合も「イベント開催時のチェックリスト」を用いて、必要となる感染防止策への対応状況をホームページ等で公表します。

【期間】 当面の間

2. 学校の対応について【継続】

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、中学校部活動の朝練習を引き続き中止します。

【期間】 当面の間

3. その他【継続】

公共施設キャンセル料の取扱い

これまで同様すべての施設について、新型コロナウイルス感染防止を理由とした使用中止の申出の場合、キャンセル料は徴収しません。

【期間】 当面の間